



高等部進路だより

京都府立八幡支援学校
高等部 進路指導部
令和7年10月14日発行

2年生は9月に4日間から9日間の職場実習がありました。3年生は9月から10月にかけて、随時職場実習を行っています。1年生は10月に職場見学を行います。

今回の進路だよりでは、実習の様子と9月26日に行われた「障害者ライフ＆ワークフェア」についてお知らせします。

高等部3年生の職場実習

3年生はいよいよ、進路を決めるための実習に入っています。実習をして、本人がここで働きたい、ここで過ごしたい、と思うことが大切です。また、企業や事業所が受け入れ可能かどうかの見極めも必要になってきます。双方がよいと思ったところで、話を進めていきます。



高等部2年生の職場実習

2年生は今年度2回目の実習に取り組みました。多くの生徒が前回より成長した姿を見せていました。



障害者ライフ＆ワークフェア

9月 26 日(金)、文化パーク城陽において、山城北圏域障害者自立支援協議会主催で、福祉事業所説明会が行われました。



全体挨拶

まず、1分間スピーチで各事業所が説明をし、その後ブースに分かれて説明を行いました。

保護者の方は、事業所の一覧を見ながら、各ブースを回り、情報を集めていました。どんな作業をしているのか、送迎はどこまであるのか等、事業所の方に直接質問でき、実習先、進路先として検討できる機会になっています。

事業所を見学したい場合は、学校をとおして行います。

対象は中学部3年生から高等部2年生までの保護者です。

山城北圏域(宇治市、城陽市、京田辺市、八幡市、久御山町、井手町、宇治田原町)にある 26 の事業所が参加しました。



ブースでの説明

午後からは、就労フォーラムが開催され、施設外就労をしている事業所の「ふくろう工房」(京田辺市)と「みっくすはあつ」(宇治市)、施設外就労先の企業である「ホームケルン」の國本社長のお話を聞きました。

施設外就労では、利用者が企業で働くという意識を持ち、成長することができるというメリットについてのお話がありました。企業としても、福祉事業所のサポートがあるので安心して受け入れることができるとのことでした。

その後、参加者がグループに分かれて、多様な働き方について意見交換しました。保護者の方の参加もあり、率直な御意見を伺うことができました。